あなたと村を結ぶ情報紙

広報

にしごう

1995 7

No. 295

平成７年７月１日発行

6月16日、国道289号線甲子峠新甲子から奥甲子温泉までの3.3キロの区間で、バイパスが開通しました。

このため、トンネル内での交通事故による車両火災を想定して、バイパスの縞石トンネル（長さ 174m）内で、防災訓練が行われました。

■ 村民のうごき

男	8,953人（+16）
女	8,800人（+31）
人口・計	17,753人（+47）
世帯数	4,806戸（+39）

〔平成７年６月１日現在・（ ）内は前月比〕

— さわやか高原公園都市めざして —

この川は、昔も今も変らず〝きれいだね。〟と語り伝えていきたい。

村内の清らかな流れに、今年も一八、九〇〇匹のヤマメ、イワナを放流

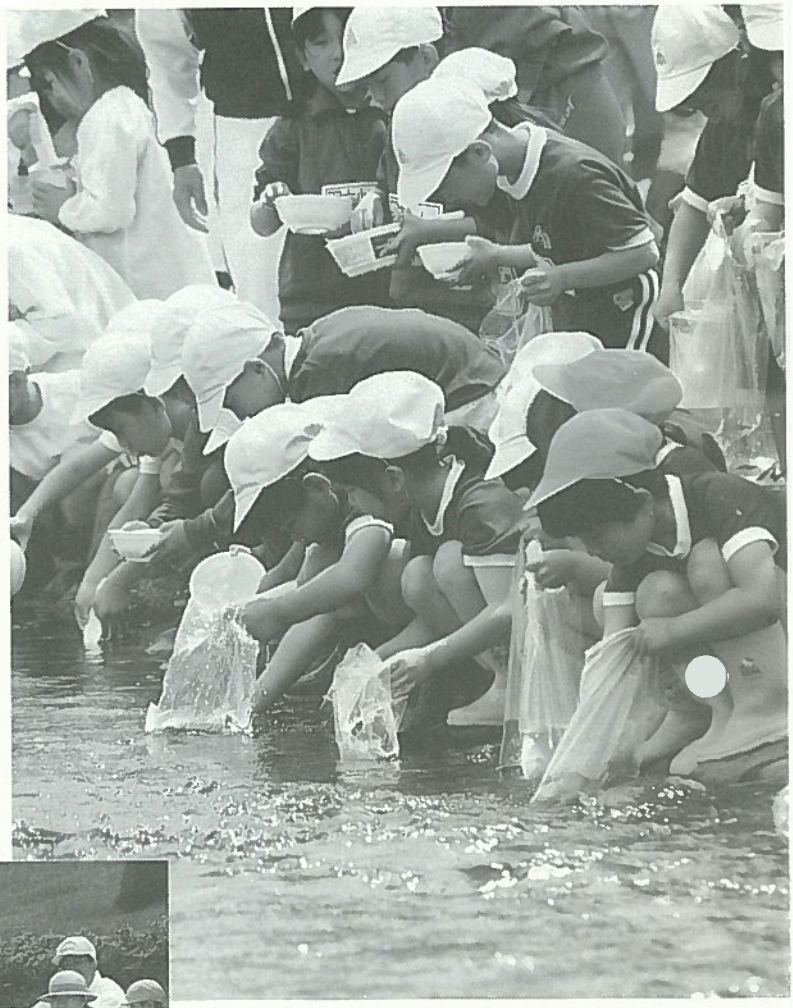
自然環境にも恵まれ「高原公園都市」づくりをめざす西郷村。村を東西に流れる阿武隈川には、「真名子、千歳、谷津田、黒川」の各支流があります。わが村が誇る貴重な財産のひとつが、この清らかな水です。

この清らかな流れを子孫の代まで残すため、平成五年度から行なわれている「源流の里づくり事業」により、村内に源を発する阿武隈川とその支流の豊かな水資源を守り大切にする心を後世に伝えるとともに減少した魚を放流することによって、清流を側面から助成していく努力がつづけられています。

Main Contents

〈主な内容〉

□この川は、昔も今も変らず〝きれいだね。〟と語り伝えていきたい……2～3
□資源としての水に恵まれている西郷村だからこそ…。……4
□地域振興のための〝電波〟利用に関する調査研究会が発足……5
□奥甲子でＴＶ土曜ワイド劇場の撮影が行われました。……6～7



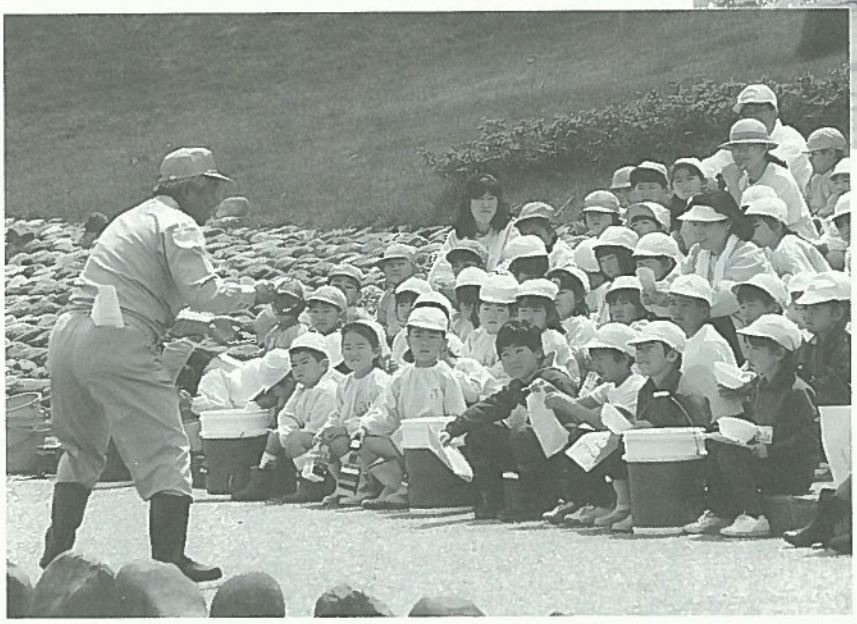
今年度も五月三十日、三十一日の両日、一の又地区の親水公園など村内七ケ所でヤマメ、イワナの稚魚一八、九〇〇匹の放流が行なわれました。

三十日の放流会場となった親水公園には、小田倉、熊倉、羽太の各小学校の一年生児童や、西郷保育所、村立幼稚園のほか西郷第二、第三幼稚園の園児総勢一九四人が参加し、ヤマメ等六、〇〇〇匹を放流しました。

子供たちは、日頃川遊びなどの機会が少ないためか、おのおののバケツに配られた稚魚を放流するときには大喜び。

きれいな水の中を、泳ぐ魚の姿に〝清らかな流れを守る〟ことの思いを感じとったことと思います。

いつしか放流された魚で村内の川が一杯になる日が待ち遠しく、そして、子供たちの心の中に生れた自然を大切にする気持ちが、大きく育つことを期待したいと思います。



▲魚の放流前に役場職員から説明を受ける子供たち。

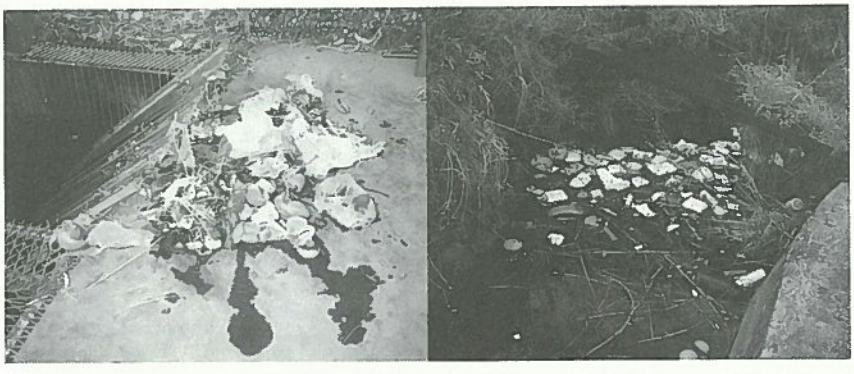
河川にゴミを捨てないようにしましょう。

最近、川や水路にゴミが捨てられて困るという苦情が村に寄せられています。

川や水路にゴミを捨てると川の汚れが進み、また下流で農業用水等の取水口がゴミで詰まる等大変迷惑がかかります。

村では、魚の住めるきれいな川を子供たちに残すため、ヤマメ、イワナの放流や河川の清掃をするなどさまざまな事業を展開し、水環境の美化に努めております。

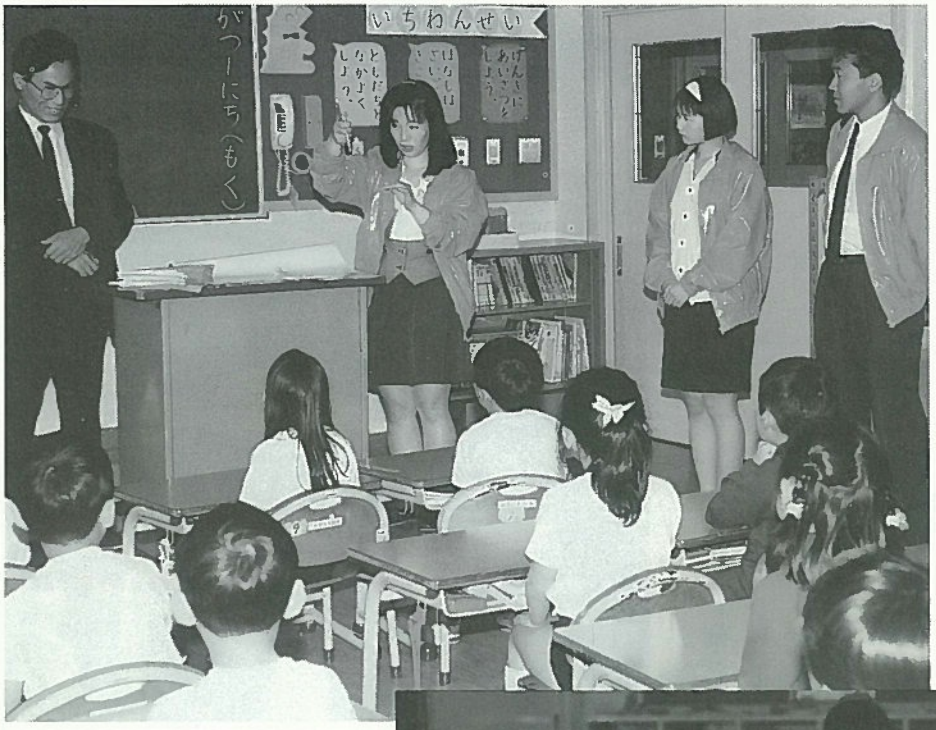
私たちの暮らしの中で、おもいやりの気持ちを持って、いつまでも美しい「**ふるさとの川**」を村民の皆さんで、守っていこうではありませんか。



▲河川には捨てられたゴミがいっぱいです。

これからは、水の需要の多い季節です。

資源としての水に恵まれている西郷村だからこそ……。



△水道事業所職員が村内の小学校で水の大切さをＰＲ

△子供たちも熱心に耳を傾むけてくれました。

昨年は全国的な水不足、特に福岡地方の長期にわたる給水制限や、阪神大震災による被災者の給水事情は皆さんの記憶に新しいことと思います。

私たちの住むこの〝西郷村〟は近隣はもとより他県からも、水資源に恵まれた地として知られており、ご承知のとおり本村の奥甲子を源として、南北に延々一八〇キロにも及ぶ阿武隈川が発しております。

村内には、上水用の水源が、八ケ所あり、隣接する白河市の水源施設もわが村にあります。

この他、将来の西白河地方の水ガメとして期待されています堀川ダムの建設も進められています。

六月一日から七日までが、水道週間（厚生省）で八月一日から七日までが、水の週間（国土庁）です。期間中、水の尊さと大切さを訴える色々な催しが行なわれています。

村水道事業所では、今年も村内の五つの小学校を巡り水の大切さ、水道の役割などをＰＲし、一年生二四七人に、鉛筆、消しゴムをプレゼントしました。

これからますます水の需要の多い季節に入ります。

日ごろ、意識することなくふんだんに使用している水ですが、その大切さを再認識し、この機会に節水や合理的な水の利用法について考えてみてはいかがでしょうか。

▷お話しの後は、水道事業所長からのプレゼント。

地域振興のための〝電波〟利用に関する調査研究会が発足

有線放送電話に代る新しい情報システムの調査研究がスタートしました。

△調査研究会であいさつする菊地村長

△加藤日本大学教授が座長で進められた〝第１回調査研究会〟

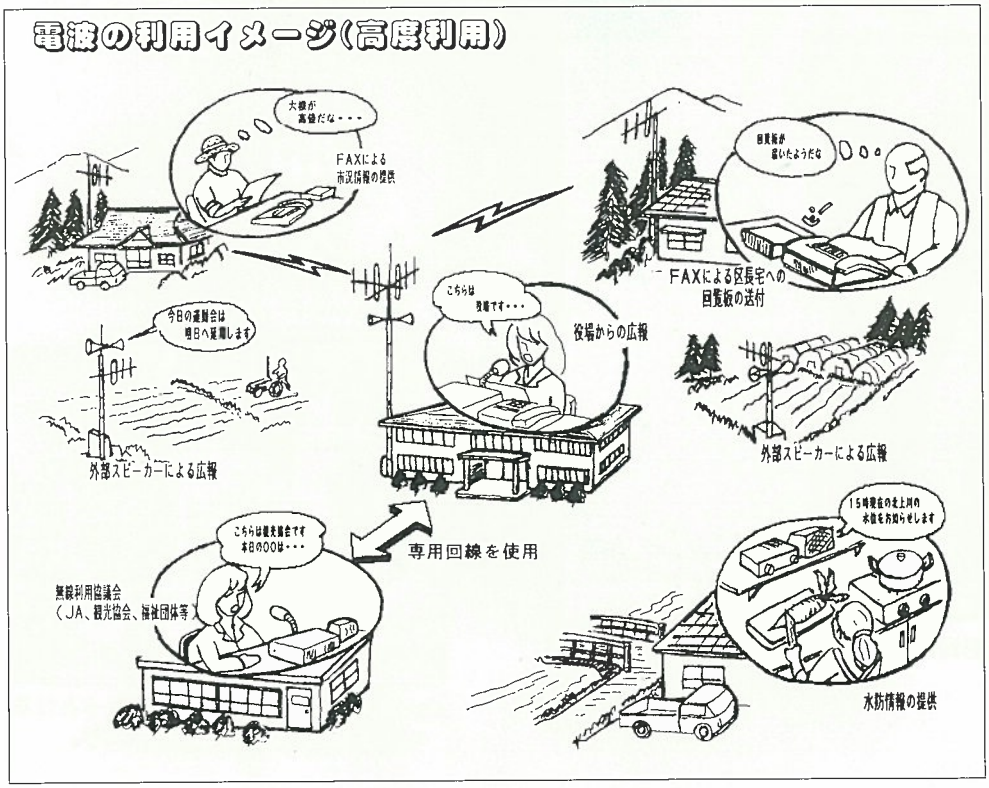
このほど、二十一世紀に対応した村民への情報伝達手段を確立するために、電波を利用した情報通信システム構築についての調査研究会が発足しました。

この研究会は、郵政省東北電気通信監理局が主催するもので福島県内では、本村が初めての指定となります。（東北では六番目）

現在の有線放送電話は、昭和四十三年に設置、深く村民に親しまれ利用されてきましたが施設が老朽化し、先の有線放送運営審議会での答申に基づき新たな通信手段を研究するためのものです。

六月六日の第一回委員会では、今後の調査、研究の日程などを決めた他、荒木伸介跡見学園女子大学教授が「まちづくりと地域情報化」と題して、昨年指定を受けた岩手県平泉町の通信システム導入までの報告について基調講演がおこなわれました。

この調査研究は来年三月までに行なわれ、村が目指している電波での多方面での利活用を考えた「住み良い西郷村」実現のための新情報通信システム（仮称）の導入方法と、地域振興に結びつける電波の利活用について提言することになっています。



西郷村を全国にPR!!

奥甲子で、土曜ワイド劇場（テレビ朝日）〝混浴露天風呂連続殺人〟「那須・甲子篇」の撮影が行われる。

今年の十一月十八日（土）午後九時、テレビ朝日系で放映予定の〝混浴露天風呂連続殺人〟「那須・甲子篇」の撮影が、去る六月九日奥甲子温泉・大黒屋旅館を舞台に行われました。

出演者は、古谷一行、木の実ナナ、火野正平、本田博太郎などテレビではおなじみの方々ばかり。

撮影の中で旅館の従業員や、役場の職員の皆さんがエキストラとして出演協力しました。

撮影の日は、あいにくの雨となってしまいましたが、約五十人のスタッフは早朝から夕方まで、休むことなく撮影のスケジュールをこなしていました。

△スチール写真撮影時の一コマです。

△大黒屋従業員の皆さん、ちょっと仕事の手を休めて〝生の撮影〟を見学。

△撮影〝ＯＫ〟後の表情は穏やかでした。

◁ＴＶ朝日制作部長（左）プロデューサー（中央）と歓談する星商工観光課長

△気さくに写真に応じてくれたモデルさんたち。

△殺人現場での雰囲気には見えません。

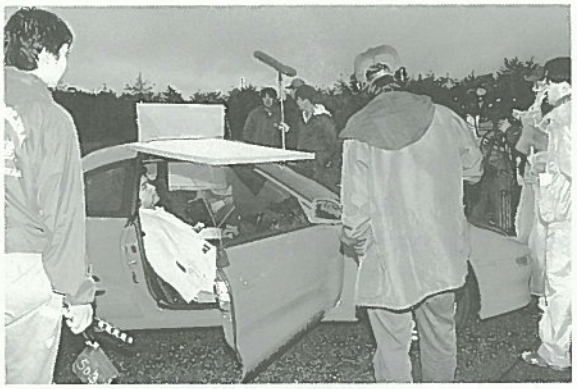
＝放映予定＝

平成７年11月18日(土)

午後９時～

テレビ朝日系「土曜ワイド劇場」

乞ご期待!!



◁リアルな〝殺人現場〟

△〝大黒屋内での撮影風景〟

△メイク担当は男性でした。

△草野副支配人さんも撮影に参加しています。

トピックス

5月21日
『初夏の日曜』催し色々！

新緑の東亜道路（通称）を快走
「第17回エンペラーカップIN白河」
サイクルロードレース大会に県内外から約1,000人参加。

△自転車競技の盛んな白河地方、6レースに熱戦が展開されました。

今がたけなわ村内小学校で運動会

この日、村内の羽太、米、熊倉、小田倉の4小学校で、それぞれ行われました。

△運動会で綱引を楽しむ父兄
「お母さんのかよわい腕に思わず力が入ってしまいました。」（米小学校）

△学年リレーでは、父兄も立ち上がって声援を送っていました。（小田倉小学校）

▷歌やっぱり「ウメーなー」約200人（午後2時）の聴衆もタメ息。

三味線と演歌に会場のファン大満足

村社会福祉協議会（真船富永会長）主催の「津軽ひろ子リサイタル」が、村文化センターで午後2時と午後6時半の2回公演で行われました。

5月28日
赤面山“山開き”と村民登山大会開催。

甲子連山赤面山の第3回山開きと、第24回村民登山大会の開会式が、赤面山スキー場で開催されました。今年は国体開催を秋に控えているため登山大会の実施時期が早められ、今回合同で実施されました。会場では、例年の通り安全祈願祭と、山開き式典が行われました。この日は好天に恵まれ、参加した約350人の登山客は、雄大な展望とすがすがしい初夏の風を満喫していました。なお、アズマシャクナゲの咲きそろった赤面山頂上付近で登山者全員を対象に抽選が行われ、盛りだくさんの賞品に、「来年も是非来たい」と参加者は口々に語っていました。また、遠来者として新潟市から参加した丸山由紀子さんに、キヨロロン村のコテージ1泊2日食事付宿泊券がプレゼントされました。

5月28日
「緑の豊かさと最新設備の共存」をテーマに工場内のシャクナゲを一般公開。

例年この時期、信越半導体㈱白河工場内のシャクナゲが見ごろになります。公園工場を目指す当工場は、48年開設時に姉妹工場のある米国バンクーバー市から48種約1,000本の西洋しゃくなげの寄贈を受け、以来増殖を繰り返し、現在その数は70種約4,000本になり、大輪の花を咲かせています。今年も5月28日、6月4日の2日間で約3,600人が観賞のため訪れました。また、当日は同工場の一部見学会も行われ最先端の技術に感嘆の声を上げておりました。

6月4日
今も守り続けられている「上羽太天道念仏踊り」躍動する踊りの中に豊作の願いが。

県の重要無形民俗文化財の指定を受けている“上羽太念仏踊り”は、毎年6月の第1日曜日に行われており、この日も上羽太公民館前の特設祭場で約100人の観衆を前に行われました。胴長太鼓、鉦、笛音に合わせ、歌い手の上げ念仏と踊り手の下げ念仏が、秋の豊作を祈ってお互いにハヤシ合いながら力強く踊っていました。昭和40年ごろからは上羽太地区だけになってしまったこの伝統行事。地元羽太小の児童にも参加させるなど、地区ぐるみで伝統を守り続ける意気込みを感じました。

6月6日
寿学級の「花いっぱい運動」今年も実施！

例年この時期にすっかり定着した村寿学級の「花いっぱい運動」事業が、あいにくの雨の中で実施されました。150人の学級生が、国道298号沿線にサルビアやマリーゴールドの花の苗1,000本を植えました。この花が咲きそろう頃、甲子高原にも夏がやってきます。

6月6日
「無事故・無違反の日」交通安全鼓笛パレードが実施されました。

6月6日は、西郷村の「無事故・無違反の日」。この日、本年も熊倉小学校（木村雅裕校長）の5・6年生166人が参加して交通安全鼓笛パレードが、熊倉、折口原両地区内で行われました。両地区の沿道では父兄や近所の人たちが、子供たちの元気な演奏に盛んな声援を送っていました。なお、現在、今年に入って死亡事故ゼロの日が続いています。

トピックス

紹介しています。

ご連絡ください。

歯の大切さ実感

良い歯づくりは、家庭と学校から。

村の『第九回むし歯のない子表彰式』で百三十四人を表彰

六月四日から十日までは歯の衛生週間です。

このほど、福島民報社、県教育委員会、県歯科医師会主催の「第三十九回よい歯の学校表彰」で熊倉小学校（児童総数四六三人）が選ばれました。

また、この週間に白河保健所、白河医師会主催の「園児のよい歯コンクール」も開催されました。

六月七日には、村主催の「第九回むし歯のない子表彰式」が、村文化センターで行なわれ、平成七年度歯科検診の結果、むし歯がなかった村内の小、中学校、保育所や幼稚園（年長組）の生徒、園児百三十四人に表彰状と記念品が贈られました。（敬称略）

◎熊倉小学校〔二十三人〕

一年　丸山浩明　岡崎雅直
　　小川原創也　柳沼麻衣
　　横山正樹　千葉希
二年　和田悦子　矢尻陽菜
　　七海貴俊
三年　丸本菜美子　下山田由紀
四年　齋藤美乃　水野谷早苗
五年　植草直紀　清野巧
　　小林津加紗　小室浩子
　　大越みなみ　相田圭祐
　　内藤啓太
六年　大倉正義　青山佳祐
　　上野未来

◎小田倉小学校〔三十九人〕

一年　長田隆之　石井恒貴
　　矢田部翔子　佐藤裕美
　　小松愛　小野崎大輔
　　渡邊愛海　石田光
　　三ツ木惟人　大石和也
　　伊藤匠　小林千草
　　渋木絵梨
二年　廣川渉　深谷奈菜
　　鈴木航
三年　廣川理恵　富永みのり
　　落合奈緒美　前田直樹
四年　浜井優太　真船ひろみ
　　真船貴久　圓谷宏明
　　服部由　鈴木聡志
　　小林悟　國木志帆
五年　柴山真司　鈴木大亮
　　大石明奈　村田和也
　　廣瀬隼人
六年　高見澤直美　真船久恵
　　鈴木美香　遠藤大輔
　　深谷計史　横田康太郎

◎米小学校〔九人〕

一年　和知常之
二年　五十嵐浩一
三年　鈴木恵里子
五年　山根淳美
六年　小針圭太　遠藤佳世子
　　小針佐知子　仁平兼誠
　　前田弘勝

◎羽太小学校〔五人〕

一年　君島望
四年　君島梢
五年　近藤誠
六年　天野雄太　近藤歩

◎川谷小学校〔四人〕

一年　佐藤ちひろ
三年　黒田朱香　岡本尚子
六年　村上学

◎西郷第一中学校〔三十二人〕

一年　渡部恭平　大高窓佳
　　木村隼　高田明人
　　大内裕子　北野美聡
　　高田研太　森大志
　　米内祐亮　小針美由紀
　　小針康子　小針基成
　　金田真純　真木希
二年　高橋聡之　真船克彦
　　高橋佑実　早山智美
　　添田政紀　平塚智文
　　辺見貴　西川奈緒美
　　工藤彬史　小針由香
　　眞木健宗　木村沙耶香
三年　須藤康清　福田智栄
　　大高祐一　和田宏之
　　和知康弘　大友亜希子

◎西郷第二中学校〔十六人〕

一年　安藤大輔　真船祐一
　　辻村愛　八巻諒子
　　有賀由加里
二年　柴原直樹　真船洋平
　　大石愛　長谷川友美
　　藤田聡　高久朋美
三年　新井義徳　高橋修一
　　長谷部勝弘　平田華緒里
　　菊地武史

◎川谷中学校〔三人〕

一年　原田宗紀　蝦名時子
三年　村山春佳

◎西郷村保育所〔一人〕

ぞう組　高橋慧

◎西郷村立西郷幼稚園〔二人〕

月組　矢尻哲也　佐藤由季子

▲各学校、保育所の代表の皆さん

▶給食後、歯の磨き方の指導を受ける児童

西郷村初の中学海外派遣生決定！

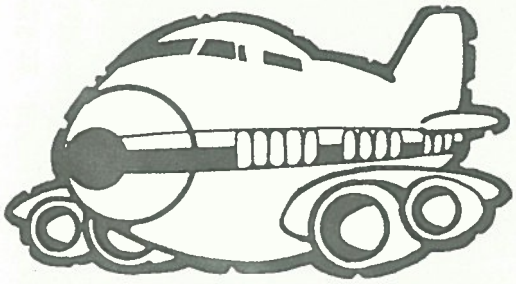
今年から村の人材育成事業の一環として村内中学二年生を対象とした海外研修事業が実施されます。去る五月十一日に選考会が行われ募集定員二十六人（男子十二人・女子十四人）の皆さんが決定しました。

決定者は次のとおり。（敬称略）

中学生海外派遣事業派遣決定者名簿

学校	氏名	保護者	学校	氏名	保護者
西一中	鈴石裕一	哲雄	西二中	安司博	悟
〃	佐久間達也	敏平	〃	藤田諭	良一
〃	鈴木武広	孝一	〃	有賀崇	孝則
〃	藤田繕学	三好	〃	佐藤剛司	大臣
〃	須藤明	賢二	〃	田村博紀	数男
〃	釜田英之	正之	〃	山下寿人	勉
〃	大塚沙織	淳一	〃	味戸美香	利夫
〃	川名佑美	久二男	〃	神田知賀子	金吾
〃	田辺鮎美	金二	〃	高久朋美	久
〃	人見孝子	昭男	〃	高坂諒子	泰二
〃	小針千佳	裕子	〃	大塚真希	功
〃	鈴木恵	政昭	川谷中	笹島今日子	明子
〃	松沢亜矢子	茂	〃	水野初美	由次

今後は、八月十八日から二十二日までの中国研修に備え、七月十五日から十六日は、国立那須甲子少年自然の家で、一泊二日の日程で「中国の歴史・マナー・交流会の持ち方等」を研修する予定になっています。



〔研修地において〕

来る月十八日は薊県到着後、薊県人民政府を表敬訪問し、翌十九日も薊県の第一中学校を訪問する予定になっています。

また、中学校での交流会では日本側生徒代表による村の紹介や、両国間生徒の歌と踊りの披露、日中混合チームによるピンポン・綱引きの試合などスポーツでの交流も計画されています。

図書室のご利用案内

西郷村に図書室があるのはご存じですか？

文化センター２階の図書室に約１万冊の本があります。大いに、ご利用下さい。

★利用日は月曜日から金曜日
★利用時間は８：30～17：00
★１人４冊まで２週間借りられます。

新しい本も少しずつ購入していますので

みなさん！
是非利用して
ください。

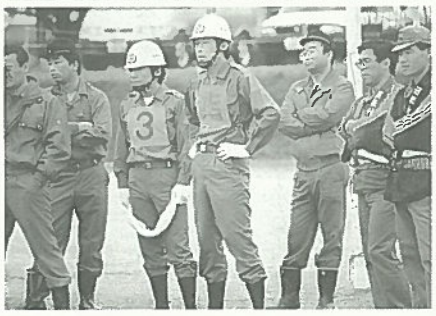
また、公民館では紙芝居や本を通じて親子のふれあいをはかる、親子読み聞かせ教室を開講する予定です。

詳しくは下記まで
西郷村文化センター内
中央公民館図書室
（ＴＥＬ　25－2755）

参加により、ふれ愛の場を求めて

訓練の成果“技と速さ”を競った
『第19回 消防操法競技大会』

△優勝に輝いた〝稗返チーム〟



▷審査する西郷分署員の皆さん。

△足場を整備する消防団幹部のみなさん。

安全・確実・迅速な動作

今年で第十九回を数える村消防団のポンプ操法競技大会が、六月四日午前八時半から熊倉小学校の校庭で開催され選手、応援団ら約一五〇人参加の中開会式では選手を前に菊地統監（西郷村長）が「訓練の成果を十二分に発揮してほしい」と訓示、高久団長があいさつ、皆川副議長らが祝辞を述べました。

同大会に向け各班が、五月中旬頃から訓練に励み大会に臨みました。

どのチームとも早朝・夕方と練習を積み重ねたとあって、競技では、気合いの入った見事なポンプ操法を披露してくれました。

この大会は、消防団員の消火技術の向上を図るとともに、消防に対する意識を高めるために行なわれており毎年熱い闘いが繰り広げられます。

今年は小型ポンプの部に十一チームが参加。優勝した稗返チーム（小型ポンプの部）と熊倉チーム（自動車ポンプの部）は村代表として八月六日に塙町で開かれる白河地方大会に参加することになります。

なお、審査結果は次のとおり。

〔小型ポンプの部〕

優　勝　第七分団第四班
（班長・遠藤光一）

稗　返　チーム

準優勝　第二分団第三班
（班長・仁平忠英）

谷地中　チーム

第三位　第三分団第三班
（班長・鈴木一朝）

柏　野　チーム

〔自動車ポンプの部〕

選　抜　第二分団第一、二班
（班長・鈴木文雄）
（班長・遠藤　実）

〔優秀賞〕

◎指揮者　第七分団第四班
長　田　勝　明

◎一番員　第三分団第三班
和　知　勝　利

◎二番員　第七分団第四班
青　柳　博　志

◎三番員　第二分団第三班
大　高　浩　徳

第三分団第三班
木　城　雅　之

第七分団第四班
森　四志正

国体広報 ②

国体の成功と美しい
ふくしまを守るために

第五十回国民体育大会（ふくしま国体）の夏季大会（九月）、秋季大会（十月）を間近かに控え、各種スポーツ大会が目白押しです。

また、ふくしま国体の成功を願って色々な活動が行われていますが、去る五月二十五日白河地区防犯指導隊西郷分隊（鈴木義則分隊長）、地元駐在所など総勢十一人で、追原地区鶴立温泉の分譲地内の住宅や使用していない別荘、倉庫等建造物の点検調査を実施。テロ、非行グループの犯罪防止に一役かっています。

△別荘入居者と歓談する隊員たち

スポーツの窓

各種大会での成績などをお知らせします。

初の西白河ミニバスケの大会
女子の部で小田倉チーム優勝

『第一回西白河地区ミニバスケットボール春季交歓大会』

去る五月二十七、二十八日の両日、泉崎村農業者トレーニングセンターで開催された第一回西白河地区ミニバスケットボール春季交歓大会で、女子の部は十七チームが参加し熱戦が繰り広げられました。その結果、小田倉チームが初優勝の栄冠を勝ち取りました。

△優勝した小田倉女子ミニバスケットチーム

三十九チームにより
健脚が競われた

「第三十七回村内一周駅伝」

例年十一月三日、文化の日の恒例となった村内一周駅伝大会が、今年は国体秋季大会をひかえていることから開催を早め、去る六月十一日三十九チーム約五〇〇人が参加し行なわれました。

この日は、天候に恵まれたため沿道では多数の村民の皆さんが応援していました。

△早く来ないかなァ～(第6中継所)

西郷村内駅伝大会結果表(上位3位まで)

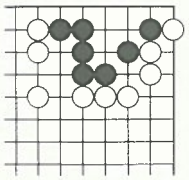
部門＼順位	1位	2位	3位
小学生男子	折口原スポーツ少年団 2時間04分43秒	川谷スポーツ少年団 2時間05分30秒	真船スポーツ少年団 2時間09分21秒
小学生女子	小田倉ミニバスケット 2時間13分13秒	米ミニバスケット 2時間16分09秒	
中学生男子	西一中野球部A＋1 1時間50分06秒	西一中野球部B 1時間51分51秒	西二中ソフトテニス部 1時間53分25秒
中学生女子	西一中バスケット部A 2時間07分37秒	西二中バレー部A 2時間11分36秒	川谷中バレー部 2時間13分10秒
一般	太陽の国A 1時間52分13秒	白河オリンパス(婦) 1時間54分04秒	川谷の先生と親子 1時間57分37秒

■区間賞(　)グループ名の略

第一区　児山英雄(川谷の先生)
(二・五キロ　八分一〇秒)
第二区　金沢麻矢(西二テ男子)
(二・五キロ　八分〇八秒)
第三区　鈴木宏樹(西一野球B)
(二・五キロ　八分一一秒)
第四区　富山雄一(西一野球A)
(二・二キロ　七分四〇秒)
第五区　山本重治(西一野球B)
(二・三キロ　八分三〇秒)
第六区　飯村俊宏(白河オリン)
(一・七キロ　六分〇五秒)
第七区　海老名真司(西一野球A)
(二・三キロ　九分一二秒)
第八区　野崎浩隆(太陽の国A)
(二・九キロ　一一分一六秒)
第九区　円谷良明(川谷の先生)
(三・〇キロ　一〇分四八秒)
第十区　星　充(太陽の国A)
(二・八キロ　一〇分〇五秒)
第十一区　室　光洋(川谷中剣道)
(二・八キロ　九分一八秒)
第十二区鈴木良彦(西一野球A)
(一・六キロ　五分二二秒)

有段を目指して

詰碁



出題　九段　武宮正樹
黒先生き
●ヒント…コウに気をつけて。
実戦によくあり。
5分で2級、3分以内で有段者。

詰将棋

出題　九段　北村昌男
●ヒント…まず打つのは角か銀か。
10分で2級、5分で二段。
持駒　角　銀

解答は17ページ

水稲のいもち病予防対策として

航空防除が実施されます。

（雨天の場合順延）

◇散布期日

第１回目　７月21日（金）
第２回目　８月１日（火）
第３回目　８月10日（木）

◇予定時間　午前５時～11時まで

◇散布予定地区

下羽太・上羽太・虫笠・真名子・鶴生・高助
段の原・追原・稗返・赤坂・山下・中島

消防団員活動に対し県知事表彰を受けました。

去る五月二十四日、郡山ユラックス熱海で開催された第四十八回県下消防大会において、高久　勇西郷村消防団長が昭和四十五年三月入団以来の活動が認められ、「県知事表彰・精勤章」で表彰されました。

国勢調査

平成７年10月１日

♥献血功労者へ有功章の伝達

献血功労者として有功章を受けられた方々への伝達式が六月十三日、村役場で行なわれました。日本赤十字社からの「有功章」（盾）と表札が、菊地村長から一人ひとりに伝達されました。

この日、表彰された九人のみなさんをご紹介します。

▼金色有功章（五十回献血）
過足武善さん〔大　平〕
田島忠男さん〔大清水〕

▼銀色有功章（三十回献血）
橋本庸子さん〔大　平〕
星　久和さん〔後　原〕
和知有三さん〔折口原〕
真船善一郎さん〔上野原〕
佐藤文子さん〔折口原〕
大倉洋子さん〔　米　〕
水野喜美子さん〔上野原〕

児童手当及び特例給付の所得制限限度額の改正について

《福祉年金課福祉係》

平成七年六月分の給付より次のように、改正になりましたのでお知らせいたします。

限度額

現　行
児童手当１４７万６千円
改正案
→　１４８万６千円

現　行
特例給付３６３万０千円
改正案
→　３２７万８千円

〔扶養親族数別得制限限度額〕　（年額）

扶養親族数	児童手当	特例給付
０人	１４８万６千円	３２７万８千円
１人	１７８万６千円	３５７万８千円
２人	２０８万６千円	３８７万８千円
３人	２３８万６千円	４１７万８千円
４人	２６８万６千円	４４７万８千円
５人	２９８万６千円	４７７万８千円

※　老人扶養親族がある場合には、１人につき６万円を加算する。
※　６月から12月までの月分の児童手当については前年の所得、１月から５月までは前々年の所得による。

「児童手当」は第一子目から受給されます。

なお、詳しいことのお問い合せは福祉年金課までお願いします。

☎二五―一一一一内線二三三

国民年金だより

年金は保険料を納めないと受けられません

原則として20歳から60歳までの40年間保険料を納めます。

国民年金から将来（65歳から）、満額の年金を受けるには、20歳から60歳までの40年間、保険料を納めなければなりません。長い間、保険料を滞納していると、年金額が少なくなったり、まったく受けられなくなる場合もあります。また被保険者が亡くなったり、障害になったときに支給される年金にも支障をきたすことにもなりますので、保険料はきちんと納めましょう。

保険料は月額11,700円です（平成７年度価格）　（平成８年度は月額12,300円の予定）

※自営業などの第１号被保険者が納める保険料額です。この額は必要な財源を保保つために、物価にスライドして毎年改定されます。

《福祉年金課年金係》

乳幼児のための健康カレンダー（7月・8月）

1才6ケ月児健康診査・6月23日村文化センター

月日	種目	受付時間	場所	対象など
7月5日(水)	2ケ月児教室	午前10:00	村文化センター	平成7年4月生まれの乳児
6日(木)	12～13ケ月児健康相談	〃 9:30～10:30	村文化センター	平成6年5日・6月生まれの幼児
	母子手帳交付・一般健康相談	午後1:00～5:00	公衆衛生係	
10日(水) ↕ 28日(金)	→総合検診	午前7:30～9:30	村同各指定会場	一般住民（料金・無料）
19日(水)	3～4ケ月児健康診査	午後1:00～1:30	白河保健所	平成7年3月生まれの乳児
27日(木)	母子手帳交付・一般健康相談	〃 1:00～5:00	公衆衛生係	
8月2日(水)	2ケ月児教室	午前10:00	村文化センター	平成7年5月生まれの乳児
3日(木)	6～7ケ月児健康相談	〃 9:30 10:30	村文化センター	平成6年12・7年1月生まれの乳児
4日(金)	3歳児健康審査	午後1:00～1:30	村文化センター	平成4年3・4月生まれの幼児
16日(水)	3～4ケ月児健康診査	〃 1:00～1:30	白河保健所	平成7年4月生まれの乳児
18日(金)	1歳6ケ月児健康審査	〃 1:00～1:30	村文化センター	平成5年12月・6年1月生まれの幼児

＝平成七年度総合検診＝
年に一回成人病・結核検診を受けましょう。

検診料金無料

検診日程　七月十日～二十八日
（土・日曜日を除く十五日間）

受付時間　午前七時三十分～九時三十分

◎都合で指定日に受診できない方は、別の会場で受診して下さい。
◎結核検診の結果、異常の無い方には「結果通知」をいたしません。
◎検診当日、「個人票」・「問診票」・「健康手帳」を必ず持参下さい。

総合検診についての問い合わせ先　住民生活課公衆衛生係
☎二五―一一一一（内線二四五・二四六）

検診会場

月日	会場	月日	会場
7月10日(月)	文化センター	7月20日(木)	上新田転作技術センター
7月11日(火)	文化センター	7月21日(金)	下新田コミュニティセンター
7月12日(水)	追原コミュニティセンター	7月24日(月)	西一中体育館
7月13日(木)	川谷集落センター	7月25日(火)	羽太小体育館
7月14日(金)	一の又多目的集落センター	7月26日(水)	西郷村立幼稚園体育館
7月17日(月)	大平公民館	7月27日(木)	西郷村立幼稚園体育館
7月18日(火)	農民研修センター	7月28日(金)	文化センター
7月19日(水)	農民研修センター		

国保の知識
《福祉年金課国保係》

保険証を取り扱うとき

診療を受けるとき、かならず窓口に提出します。

＊長期の旅行や就学のため一時的に他の市区町村に住むようなときは、もう一枚保険証が交付されます。

今年のこよみ

7月
（文　月）
July

7月の主な行事

1日　青少年を非行からまもる全国強調月間（総務庁、警察庁）
オゾン層保護対策推進月間（環境庁、通商産業省）
社会を明るくする運動（法務省）
「共に語ろう外交」月間（外務省）
「愛の血液助け合い運動」月間（厚生省）
夏期食品一斉取締り月間（厚生省）
労働者派遣事業適正運営推進月間（労働省）
ほっとウイークキャンペーン（～8月・労働省）
河川愛護月間（北海道は8月・建設省）
海岸愛護月間（建設省）
国民安全の日（総理府）

1日　全国安全週間（～7日・労働省）
国家公務員安全週間（～7日・人事院、総務庁）
10日　海外安全週間（～16日・外務省）
国土建設週間（～16日・建設省）
14日　検疫記念日（厚生省）
港の衛生週間（～20日・厚生省）
15日　勤労青少年の日（労働省）
20日　海の記念日（運輸省・海上保安庁ほか）
海の旬間（～31日・運輸省、海上保安庁ほか）
21日　自然に親しむ運動（～8月20日・環境庁）
森と湖に親しむ旬間（～31日・林野庁、建設省）

安全で安心できる消費生活を

《福島県県民生活課消費者行政係》

平成七年七月一日、製造物責任法が施行されます。

製造物責任法とは、製品の欠陥によって生命、身体、または財産に損害を被ったことを証明した場合に、被害者は製造業者などに対して損害賠償を求めることができる法律で、通称ＰＬ法とも呼ばれています。

この法律は平成六年七月一日に公布され、今年の七月一日から施行されることになっています。

消費者の皆さんは、製品の適正な選択、使用および保守をすることが重要です。

製品の仕様・機能・内容の確認に努め、使用する際には表示・取扱説明書をよく読み、事故につながるような使い方をしないよう心がけましょう。

製品の保守・点検をこまめに行うことも大切です。

なお、製品の事故が発生した場合には、慌てず写真を撮っておくなど、現場の状況を確認・記録するよう努めることが重要です。詳しいお問い合わせ先は、県消費生活センター☎〇二四五―二一―〇九九九へ。

「扇風機は使用前に必ず自己点検を」

《(社)日本電機工業会》

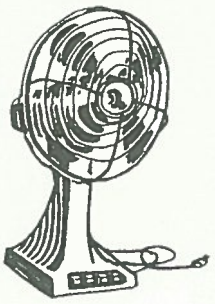
そろそろ扇風機が活躍する季節。

安全に使うため、十分な点検を行いましょう。

- スイッチを入れても、ファン（羽根）が回らない。
- ファン（羽根）が回っても、異常に回転が遅かったり不規則。
- 回転するときに異常な音がする。
- モーター部分が異常に熱い。
- コゲくさいにおいがする。

プラグが抜けていないか、タイマーツマミが「切」になっていないか、ガードが変形していないか、ガードや羽根の取り付けがゆるんでいないか等を再点検。

異常を放置したまま無理に使用すれば、発煙、発火の恐れがありますので、すぐにプラグを抜いて使用を中止し、必ず販売店等にご相談ください。



愛車の点検整備はあなたの自覚から始まります。
〔自動車の検査・点検整備制度の改正〕

《東北運輸局福島陸運支局》

〝車の健康〟気をつけてますか

今年の七月から、自動車の検査および点検整備制度が変わります。これは、自動車技術の進歩や車の使われ方が多様化するなど、自動車を取り巻く環境の変化に、きめ細かく対応するために行われるものです。

今回改正された制度には、大きく分けて三つのポイントがあります。

◆車の健康管理はユーザー自らの責任で！

七月から施行される「改正道路運送車両法」では、点検整備をするなど、車を常に適切な状態に維持する責任が、自動車ユーザー自身にあるという、いわば自己責任の考え方が導入されています。

◆六ケ月点検の廃止
十二ケ月、二十四ケ月点検の項目の半減

改正前の制度では、自家用乗用自動車など（いわゆるマイカー）については、六ケ月、十二ケ月、二十四ケ月の点検を受けることが義務づけられていました。

今回の改正では、このうち六ケ月点検の義務づけが廃止されることになりました。つまり、十二ケ月（一年）点検と二十四ケ月（二年）点検だけが義務づけられることになりました。

また、点検項目についても簡素化されています。具体的には、十二ケ月点検で六十項目から二十六項目、二十四ケ月点検で百二項目から六十項目に削減されています。なお、そのほかの車種についてもそれぞれ点検項目が簡素化されています。

◆〝車齢〟が十一年を超える車両の車検期間の延長

俗に「十年車」といわれていた自動車は、十一年を超えると一年ごとに車検を受けなければなりませんでした。しかし改正後は、車齢が十一年を超えた自動車でも、車検の期間が二年になります。

――・――・――・――

六ケ月点検の廃止や点検項目の削減などの見直しが実施されることは、それだけ車をもつ人の責任が問われることになります。

日常の点検を習慣づけるとともに、定期点検を含め車の使用状況に応じて、自分の判断で適切な点検整備を実施することが重要です。

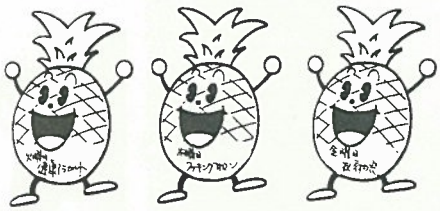
ゆうせん7月の番組予定表

あさ　6:30～
※7:15(交通事故防止)
ひる　12:30～
よる　19:30～
※21:00(火災予防)

7/1 歌の プレゼント “サマー ソング特集”

7/30

7/31 少年非行と有害環境の浄化



2 半夏生

3 水難事故 防止

4

5 暑い夏を さわやかに！ Part 1

6 しょうゆ 照り焼き

7 七　夕

8 話題の人登場 “英語指導助手 マイケル先生”

9 日曜・祝日の放送はお休み!!

10 自転車は 安全に乗り ましょう

11

今月は〝村の総合検診の月〟です。検診に関した情報で検診を呼びかけます！

12 暑い夏を さわやかに！ Part 2

13 みそ 照り焼き

14 食中毒に 気をつけよう

15 詩の朗読 “羽太小6年 大倉聖くん”

16

17 夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動

18

19 夏休みを 楽しく Part 1

20 バーベキュー 照り焼き

21 土用の丑の日

22 歌の プレゼント “サマー ソング特集”

23

24 夏の交通事故防止県民総ぐるみ運動

25

26 夏休みを 楽しく Part 2

27 パイナップル 照り焼き

28 夏季の 省エネ対策

29

(左上につづく)

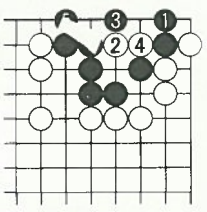
ゆうせんメモ

火曜日の『健康アラカルト』は、「村の総合検診の月」にちなみ各検診に関した情報で検診を呼び掛けます。また木曜日の『クッキングサロン』は夏本番にぴったり、こんがりこてこての漬けだれで鳥肉を使った〝照り焼きチキン特集〟。土曜日の『みんなの広場』は一日と二十二日が「歌のプレゼント」で〝サマーソング特集〟十五日は「詩の朗読」で、羽太小学校六年の大倉聖君が広報「にしごう」掲載の自分の詩を朗読いたします。八日は「話題の人登場」で、今月で西郷村を去ります、英語指導助手のマイケル先生の〝さよならメッセージ〟です。涙をこらえ（？）お聞き下さい。

今月の納税

固定資産税　第2期分
国民健康保険税　第1期分

13ページの解答



〈詰碁正解〉 黒1のサガリが落ち着いた好手、白2 4の攻めには黒5までで生き。

〈詰将棋正解〉 3三銀、2一玉、3二角、1二玉、1三竜、同玉、1四角成、同玉、2四金まで9手詰め。
〈解説〉 1一角と打ちたくなりますが、2一玉、2二銀、3二玉以下、逃げられます。3三銀が正手で、同玉なら4四角まで。銀の次に角を打ち、その角を1四に成るうまさが見どころ。

善意をありがとうございます

◎村に寄付された方々をご紹介いたします。

▼白河地区管工事協同組合 理事長　小田浩三郎さん 【下新田】
（五月二十一日、第五十回国民体育大会運営基金のため）
一〇〇、〇〇〇円

◎西郷村社会福祉協議会に寄付された方々をご紹介いたします。

▼新井好幸さん 【一の又】
（五月二十四日、故新井ヨシさんの遺志として）
一〇〇、〇〇〇円

▼内海　豊さん 【馬場坂】
（六月二日、故内海五郎さんの遺志として）
一〇〇、〇〇〇円

▼白井知夫さん 【馬場塚】
（六月十二日、故白井タツ子さんの遺志として）
五〇、〇〇〇円

誌上天然色作品展

図画

春をかこう

羽太小学校五年
近藤誠
木村健治
近藤啓太
君島菜津美
鈴木寿子
白岩伸子
（共同作品）

先生から一言　高橋文恵先生

「春をかこう」という題材で、６人で描きました。
うぐいすの鳴き声や小川のせせらぎが聞こえてきそうですね。
筆の使い方や色のぬり方など、新しい技法を使って仕上げました。

詩

つり

羽太小学校六年
大倉聖

さおから
糸がピーンとのびる
はりにえさをつけて
川におとして
魚がくるのをまっている
いきなりうきが
見えなくなった
さっとさおをあげると
糸がおどる
銀色のヤマメが
空にとびだつ
なれない空をけんめいにおよぐ
水にもどろうと
でももうおそい
キラキラかがやくヤマメの体は
ぼくの手にしっかりとにぎられる
このしゅん間がぼくは大好きだ

先生から一言　緑川喜久先生

魚がかかるのを待っている時の緊張感や魚を釣り上げ、自分の手に握るまでの一瞬の出来事を生き生きと表現しています。
そのため、その時の感動がよく伝わってきます。

身近な花をたずねて㉘　サクラソウ

山地の野原に群生する多年草で、日本のサクラソウ類の代表。芝ザクラに似た感じの花です。

写真を取るようになって今までなにげなく見過ごしていた色々な花にも、カメラを向けるようになりました。

（撮影・平成７年５月９日、折口原地内）

編集後記

先日、白河農協で月刊情報誌「浪慢」の広報モニターの委嘱会議に出席しました。

「浪慢」は農家の皆さんのための情報誌ということで、親しまれ、読みやすくと、色々苦心の状況が見受けられました。

毎月の表紙「さわやかさん」は、ミスコンテスト参加者の皆さんを主体に笑顔のステキな独身のお嬢さん方を紹介しており、最初に私がこの機関紙を手にした時、随分しゃれた名の広報誌との印象を強くしました。

私も村だよりの表紙写真を、次回は何が掲載されるのか楽しまれるような写真を撮りたいのですが……。

【円谷】

・発行／西郷村　・編集／企画調整課　〒961 福島県西白河郡西郷村大字熊倉字折口原40　☎(0248)25－1111(代表)
広報に掲載した写真差し上げます。(広報広聴係・内線３２４)
印刷・(有)古楓堂堀川印刷所